

第7回理事会 議事録

一般社団法人 尾道青年会議所
2021年度 第7回 理事会議事録

日時:2021年7月6日(火) 19:00～

場所:尾道国際ホテル

(出席者)安楽城大作・今岡正英・加藤雄大・島田元太・吉田雄太・高升純・内海洋平・森川陵・大池慎三・島田昌広・岡本大輔・山本恭平・高山敦好・吉田嵩正・岡本正也・小西琢真・中島裕一朗・歌一行・水野春樹・加藤雅崇

(欠席者) 加度亮平・高橋建太

(遅刻) 沼田剛志

(早退) なし

次第

1. 開会 (歌一行)
2. 点鐘: (安楽城大作)
3. JCI クリッド唱和: (小西琢真)
4. JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和: (大池慎三)
5. JC 宣言文朗読並びに綱領唱和: (山本恭平)
6. 出席者の確認: (加藤雄大)
7. 配付資料の確認: (歌一行)
8. 議事録署名人名並びに議事録作成者の指名: (安楽城大作)
9. 議題の確認: (歌一行)
10. 理事長挨拶: (安楽城大作)

まず、先日、熱海で土砂災害がありました。亡くなられた方々のご冥福と、今も安否のわからない方々の無事をお祈りします。

この時期になると毎年どこかで災害が生じており、それが当たり前のようになっています。

社会開発委員会には防災事業をお願いしておりますが、意識を高めておく必要があると、改めてこの時期になると思います。

尾道でも過去に大きな災害を経験しておりますが、何が起こっても対応できるようにできるだけ準備をしておきましょう。

また、先日の合同委員会では、約2か月という休止期間を経ての再スタートの場ということもあり、少し長めに挨拶をいたしました。

改めて、あの場で話したことを皆さんも考えていただければと思います。

そして、拡大の活動期間を7月末まで延長しました。

第7回理事会 議事録

5月、6月となかなか拡大活動ができにくかったと思いますが、今月末まで拡大活動をやりきるという気持ちで、各委員会の皆さんにもご協力頂ければと思います。よろしくお願いいたします。

さて、今後の方針について合同委員会でもお話しさせて頂きましたが、ここでもお話しさせていただきたいと思います。

これから先、各委員会の本事業が行われていくと思います。

本事業を構築する段階で、理事メンバーだけでなくフロアメンバーも協力してやっていかないと物事が進まない局面に遭遇している委員会もあるのではないのでしょうか。

「人を活用する」ということが大切になってくると思いますが、そんな時に是非やって欲しいのが「作業に意味を持たせて、動いて貰うようお願いをする」ことです。

そうすることで、動く側のモチベーションが変わります。

これが上手くできないと、最初はついてきてくれますし、単純な作業はやってくれますが、いざという時になかなか連携がとれなかったり、ついてきてくれなかったりします。

「なんのための事業なのか」、「なんのためにその作業のお願いをしているのか」、そういうことをしっかりコミュニケーションを取って理解して貰った上でお願いして、人を活用するというのを残り半年間でやって欲しいと思います。

今後の社会生活をリーダーとしてやっていく上でも必ず役に立つと思います。

最後に、今年は飲食を伴う懇親はなかなか行いにくいですが、何らかの形でコミュニケーションを取って欲しいと思います。

他人の意見を聞くことで新しい発見もあれば、自分の意見を言葉にすることで、明確になったり、足りないところがわかることがあります。

そういう場を作ることで成長に繋がると思いますので、多少無理をしてもコミュニケーションの場を設けて欲しいと思います。

以上です。本日もよろしくお願いいたします。

11. 直前理事長挨拶：（加度良平）

欠席のため割愛

12. 理事長報告：（安楽城大作）

資料にて確認。

13. 委員会報告： 13；58

【社会開発室】（島田元太）

「未来ビジョン委員会」（内海洋平）

委員会報告は記載のとおりです。

第7回理事会 議事録

先日合同委員会でお時間いただきました「アンケート回答」の期限が7月9日までとなっておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

「社会開発委員会」（大池慎三）

委員会報告は記載のとおりです。

以前尾道の社協が作成した「災害ボランティアの協力への登録」をしていただきましたが、この度広島県が新しい物を作成されたということで案内が皆さんにメールが届いているかと思えます。

そちらに登録のやり直しをよろしく願いいたします。

【指導力開発室】（吉田雄太）

「地域教育実践委員会」（島田昌広）

委員会報告は記載のとおりです。

「組織活性化委員会」（山本恭平）

委員会報告は記載のとおりです。

本日、審議事項が1件ありますのでよろしく願いいたします。

【JC 運動推進室】（歌一行）

「拡大研修委員会」（吉田嵩正）

委員会報告は記載のとおりです。

現在仮入会院は8名です。拡大活動のご協力をよろしく願いいたします。

本日、審議事項が1件ありますのでよろしく願いいたします。

「総務広報委員会」（小西琢真）

委員会報告は記載のとおりです。

本日、審議事項が1件、協議事項が1件、報告事項が1件ありますのでよろしく願いいたします。

14. 審議事項：（安楽城大作）

第1号議案 6月例会 事業報告（案）決算（案）に関する件

（小西琢真）

資料読み上げ（1-1、1-2）

予算に関しては、中止になりましたので使っておりませんので全て余剰金として計上しております。

第7回理事会 議事録

以上、慎重なる審議をお願いいたします。

*全会一致で承認。

第2号議案 新入会員ガイダンス 事業計画（案）予算（案）に関する件
（吉田嵩正）

資料読み上げ（2-1、2-2、2-3）

以上、慎重なる審議をお願いいたします。

（高山敦好）

吉田委員長の所信である「とんぼ」から、今回の新理事研修に何か反映させていることはありますでしょうか。何か伝えたい思いなどあれば教えて下さい。

（吉田嵩正）

今回の新理事研修の内容には反映させていることはありませんが、仮入会の皆さんに「とんぼの思い」が伝わるように研修に臨みたいと思います。

（高山敦好）

当日使われる資料ですが、以前拝聴しましたが、棒読みになっているメンバーもいたのが気になりました。

「とんぼの思い」が伝わるように、メンバーでしっかり準備して臨んで欲しいと思います。

*全会一致で承認。

第3号議案 夏期講習 事業計画（案）予算（案）に関する件
（山本恭平）

資料読み上げ（3-1、3-2、3-3）

資料参照（3-7）

1点資料に変更があります。

資料3-7に「全てのグループが登頂したときに。集合写真を撮影します。」とありますが、登山出発前に集合写真を撮影に変更いたします。

第7回理事会 議事録

今回の夏期講習、色々のご心配をおかけする点もあるかとは思いますが、私が4回下見に行って、4回とも素晴らしい登山になりました。

是非とも皆で登り、達成感を味わうことで今後のJC活動にも大きな影響を与えていると思っています。

以上、慎重なる審議をお願いします。

(内海洋平)

高山病の心配は無いのでしょうか。

(山本恭平)

高山病は標高2000m以上の山で発生します。

石鎚山は1984mなので、高山病の心配は無いと考えます。

*全会一致で承認。

15. 協議事項：(安楽城大作)

第1号議案 新理事研修 事業計画(案) 予算(案)について

(小西琢真)

資料読み上げ(4-1, 4-2)

資料参照(4-4)

予算に関しては、収支予算明細書(案)をご覧ください。

会場費支出として、ベイタウン尾道へ28,886円。

設営費支出(看板代)として、メディアジャンクションへ14,300円。

資料支出費として、合計261円。

講師関係費支出として、桂馬のカタログギフトを5,000円。

事業予備費として、1,553円。

合計で50,000円の予算を組んでおります。

資料参照(4-14)

看板レイアウト(案)に関してですが、毎年同じ内容で作成しておりますので、「講師の情報」のみを変更できるようにし、費用を削減できるようにいたしました。

慎重なる協議をよろしくお願いいたします。

第7回理事会 議事録

(島田昌広)

タイムスケジュールに、1ゲーム8分で3セット行い、ゲームの総時間が55分となっておりますが、残りの時間は説明や席替えの時間なのでしょうか。

(小西琢真)

ゲームを3セット行い、席替えをして、再度3セットの計6セットを実施予定です。時間によっては、1セットあたりのゲーム時間を委員会メンバーで調整するなどして、柔軟に対応したいと思います。

(内海洋平)

事業の目的に「論理的思考の向上」とありますが、それを「人狼系ゲーム」を通じて行うのでしょうか。その目的が達成できるという裏付けとなるようなものはありますでしょうか。

(小西琢真)

裏付けになるか不明ですが、委員会メンバーで実施した際に「質問を考える」ことを意識しながらゲームを行う必要がありました。

どういう質問をすれば、どういう答えが返ってくるのかを考えることが論理的思考に繋がるのではないかと考えます。

また、「人狼系ゲーム」は企業でも活用されており、研修内容としてスキルを磨くことができると思います。

「コミュニケーションスキルを磨くゲーム」と記載しておりますが、会話を盛り上げるようなスキルではなく、相手に質問を投げかけたり、答えるという討論のスキルに特化したゲームになっております。

(山本恭平)

人狼系ゲームという物を経験したことがないのですが、当日の5分の説明だけで円滑にできるような物なのでしょうか。

(小西琢真)

委員会メンバーで実施した際に、説明だけでは理解できない部分も人によってはありましたが、1度やってみると皆が理解できました。

そのため3セットあれば、十分楽しんでもらえると考えております。

内容について簡単に説明しますと、3人からできるゲームになり、「少数派を当てる」という物です。

第7回理事会 議事録

資料4-9のお題サンプルに「西国寺」と「浄土寺」とありますが、このように1人が1つのお題を与えられ、どちらかが「少数派」となります。

お互いのお題を知ることができないので、質問によって少数派を暴いていきます。

1巡目は各自自分のお題について説明するのですが、このサンプルであれば「尾道のお寺です」「JCメンバーが在籍するお寺です」などの説明を、それぞれが行います。

サンプルの場合は「お寺」ですが、1巡目で「大きな共通したテーマ」が見えてきますので、その後細かい質問を互いにしていきます。

「大きな草履があるお寺です（西国寺）」という、決定的な違いを引き出せるような質問をすることで少数派が暴かれるシステムです。

ゲーム時間の終了時に、各自が「少数派だと思う人」に指をさして当てるという内容です。

ゲームの主旨は、「良い質問をする」ということであり、理事会の場にも繋がると考えます。

来年の新理事のメンバーには、新理事研修の段階から「活発な議論のできる土壌」を構築していただけるように、今回のゲームは有用であると考えます。

(森川陵)

ゲームのお題を工夫して、理事の自覚に繋げるような物にされたほうが良いのではないのでしょうか。

(小西琢真)

委員会メンバーでお題に関して話し合っております。

尾道に係わることや、尾道JCならではの物にしたいと思っています。

(高山敦好)

人狼系ゲームは会社向けの研修でも使われているということですが、「管理職向け」なのか「新入社員向け」なのか、ターゲットはどこになるのでしょうか。

(小西琢真)

私が調べた物は新入社員向けとなっております。

(高山敦好)

新入社員向けであれば、新理事研修にふさわしくないのではないのでしょうか。

(小西琢真)

第7回理事会 議事録

メインはあくまで先輩の講話であり、理事メンバーとしての自覚を養って貰うことだと考えます。

ゲーム研修については、今回行うことができない懇親会の代わりとなり、新理事の方々がコミュニケーションが取れるような役割として考えています。

(高山敦好)

ゲームを行うこと自体は良いと思いますが、「理事」としての自覚を養えるような内容の物の方が良いと思いますので、そういう方向で内容を詰めて欲しいと思います。

また、資料4-6に「事業が行えるかどうかわからない状況ですが」という1文がありますが、これは理事メンバーが言うべきではないと、私はと思いますが、いかがでしょうか。

(小西琢真)

資料作成時が緊急事態宣言下であったため、このような表現となってしまいました。おっしゃるとおり理事としてふさわしくない表現ですので修正いたします。

(山本恭平)

資料4-7, 4-8のゲーム選定理由に「嘘つきを探し出すために」とありますが、その後「基本的に嘘についてはいけません」とあります。

ゲームの中で嘘はついてよいのでしょうか。また、どうやって勝ち負けが決まるのでしょうか。

(小西琢真)

人狼系ゲームは基本的に嘘をつく人がいて、その人を当てるゲームです。

「基本的に嘘についてはいけません」という文言に関しては、委員会メンバーでゲームを行った際の経験から記載しました。

通常の人狼系ゲームは、ゲームを始める段階で「狼の人(少数派のお題の人)」は、自分が少数派であると知っているため、嘘をつく必要があります。

しかし、今回の「ワードウルフ」というゲームは「狼の人(少数派のお題の人)」も自分が少数派かどうかはわからない状況でゲームが始まり、会話の中で「自分が多数派なのか否か」を判断していきます。

そのため、少なくとも1巡目は正直なことを言わないとゲームが成り立たないことがあります。

実際、今年因島JCの例会にブロック運営団の方が訪れた際に同じゲームを行ったそうですが、中には全くのデタラメをいう方がいてゲームにならなかったという話も聞いたため、「基本的には嘘についてはいけません」という文言を入れました。

第7回理事会 議事録

「嘘をついて良いかどうか」に関しては、テーブル毎に臨機応変に判断していただければと思います。

(島田昌広)

事業目的には「理事としての自覚と責任」「論理的思考の向上」という個々人の能力について書いてありますが、テーマは「切磋琢磨」とあります。

切磋琢磨というのは個人というよりも、全体としての言葉に感じますが、テーマを切磋琢磨とした理由を教えてください。

(小西琢真)

切磋琢磨というのはお互いに努力し合うというイメージがあります。

新理事同士で相手に切り込んだ質問をするのはなかなか難しいと思っていますが、そんな中でも互いに質問をぶつけ、良い議論をしていって欲しいという意味を込めて切磋琢磨しました。

(安楽城大作)

新理事研修をただとすることは良くないと思いますが、ゲームの内容がよくわからないとだれてしまうと思います。

内容がきちんとわかるように説明できるように準備をお願いします。

その他、質問等無いようですので、本議案を閉じさせていただきます。

16. 報告依頼事項：(歌一行) - 10:13

第1号議案 尾道の伝統文化の調査・研究・実践【尾道祇園祭・三体廻しへの協力】について

(大池慎三)

資料読み上げ(5-1)

第2号議案 6月例会【アンケートの依頼】について

(小西琢真)

資料読み上げ(6-1)

第3号議案 尾道の伝統文化の調査・研究・実践【御袖天満宮大祭への協力】について

(大池慎三)

資料読み上げ(7-1)

17. 連絡事項：

第7回理事会 議事録

(歌一行)

冒頭の理事長挨拶でもありましたが、先日発生しました熱海での土砂災害に募金を行いますので、ご協力をお願いいたします。

理事以外のメンバーについても、募金に協力していただける場を設けたいと思います。

また、先日合同委員会でお知らせした「経済同友会のWEBセミナー」の登録もお願いします。

(加藤雄大)

次回上程締め切りは7月19日(月)の17:00までとさせていただきます。

18.監事講評:

(今岡正英)

本日の審議事項の夏期講習についてですが、協議段階からも含め色々な意見や質問がありましたが、無事可決となりました。

可決されたからには、皆で協力して行って欲しいと思います。

理事の皆さんや山本委員長の意見を直接聞いておりますので、フロアメンバーには皆さんから山本委員長の意思をお伝えして、より多くの参加を促して欲しいと思います。

また、新理事研修についてですが、毎年理事長経験者に講師として来ていただいております。

過去に委員長と上手く連携が取れていないケースがあり、少しトラブルになったことがありました。

小西委員長には、その様な事が無いようにしっかりと「どういった内容なのか」等、綿密な打ち合わせを行っていただき、おもてなしをしていただきたいと思います。

よろしく願いいたします。

以上、監事講評とさせていただきます。

19.次回開催日の確認:(歌一行)

8月6日(金)19:00より 国際ホテルにて

20.閉会:(歌一行)

21.点鐘:(安楽城大作)